
Express5800/R32Ba シリーズモデル

iLO6 ファームウェア (ver 1.64) 更新事前確認事項

[GZZ-032089-001 (事前確認事項)]
(第 1 版)

2025 年 3 月 第 1 版
© NEC Corporation 2025

目次

目次.....	2
1. 本書について.....	3
1.1. 本文中の記号について.....	3
2. 関連ソフトウェアのバージョン確認	4
2.1. RHEL 系 OS ご使用装置	4
2.1.1. <i>ESMPRO/Server Aganet Service</i>	4
2.1.1.1. バージョン確認方法 (ESMPRO/Server Agent Service, RHEL 系).....	4
2.1.1.2. インストール方法 (ESMPRO/Server Agent Service, RHEL 系).....	5
2.1.2. <i>RAID 通報サービス</i>	5
2.1.2.1. バージョン確認方法 (RAID 通報サービス, RHEL 系).....	6
2.1.2.2. インストール方法 (RAID 通報サービス, RHEL 系).....	6
2.1.3. <i>Agentless Management Service</i>	7
2.1.3.1. バージョン確認方法 (Agentless Management Service, RHEL 系).....	7
2.1.3.2. インストール方法 (Agentless Management Service, RHEL 系)	7
2.2. WINDOWS SERVER 2022 OS ご使用装置	9
2.2.1. <i>ESMPRO/Server Aganet Service</i>	10
2.2.1.1. バージョン確認方法 (ESMPRO/Server Agent Service, Windows Server 2022)	10
2.2.1.2. インストール方法 (ESMPRO/Server Agent Service, Windows Server 2022).....	10
2.2.2. <i>RAID 通報サービス</i>	11
2.2.2.1. バージョン確認方法 (RAID 通報サービス, Windows Server 2022)	11
2.2.2.2. インストール方法 (RAID 通報サービス, Windows Server 2022).....	11
2.2.3. <i>Agentless Management Service</i>	12
2.2.3.1. バージョン確認方法 (Agentless Management Service, Windows Server 2022).....	12
2.2.3.2. インストール方法 (Agentless Management Service, Windows Server 2022)	12

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部について、許可なく複製・転載・翻訳・他形式・メディアへの変換を行うことは、禁止されております。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一お気づきの点や、ご不明の点がありましたら、販売店または弊社までご連絡ください。
4. 本書記載操作を行った結果の影響については、上記 3 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
5. 本書は、本体装置の操作に熟知した管理者、または保守員向けに記載されております。本体装置の取り扱いや、各種 OS の操作、その他一般的かつ、基本的な事柄につきましては記載を省いておりますのであらかじめご了承ください。

© NEC Corporation 2025

日本電気株式会社の許可無く、本書の複製・改変などを行うことはできません。




1. 本書について

本書は、Express5800/R32Ba シリーズ製品向けの iLO6 ファームウェア更新に際し、事前に確認して頂きたい内容を記載したものです。

対象製品 (本体装置)	Express5800/R32Ba-E2, R32Ba-E2 (2nd-Gen)
対象 iLO6 ファームウェア更新バージョン	ver 1.64

1.1. 本文中の記号について

本書では、下記 3 種類の記号を使用しています。
これらの記号と意味をご理解になり製品を正しくお取り扱いください。

	製品の取り扱いや、OS、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や、特に注意すべき点を示します。
	製品や OS、ソフトウェアを操作する上で、確認しておく必要がある点を示します。
	知っておくと役立つ情報や便利な事柄を示します。

2. 関連ソフトウェアのバージョン確認

iLO5 ファームウェアを ver 1.64 に更新した際、本章記載のソフトウェアを本章記載の適合バージョンにする必要があります。

そこで、予め、該当ソフトウェアの使用有無、及び現在インストールされているバージョンをご確認ください。

そして、該当ソフトウェアを使用しており、且つ本章記載の適合バージョンでは無い場合は、**iLO6 ファームウェアを ver 1.64 へ更新したのち**、それらソフトウェアを適合バージョンに更新してください。




尚、ソフトウェアを更新した後、本体装置を再起動してください。

RHEL 系 OS をご使用の装置	<2.1RHEL 系 OS ご使用装置> を参照ください。
WindowsServer 2022 OS をご使用の装置	<2.2Windows Server 2022 OS ご使用装置> を参照ください。

2.1. RHEL 系 OS ご使用装置

Table 2-1 確認ソフトウェア、適合バージョン及び関連情報 (RHEL 系)

ソフトウェア	適合バージョン	バージョン確認、及びインストール方法	更新順番
ESMPRO/Server Aganet Service	2.3.3-0 以上	<2.1.1ESMPRO/Server Aganet Service>	1
RAID 通報サービス	Ver 3.00 Rev 4047 以上	<2.1.2RAID 通報サービス>	2
Agentless Management Service	3.5.0 以上	<2.1.3Agentless Management Service>	3

	上表ソフトウェアの更新は、上表「更新順番」欄記載の順番で更新してください。
	上表ソフトウェアのインストールは、StarterPack (S8.30-001.02) を使用します。 NEC コーポレートサイト(https://www.support.nec.co.jp/) 「NEC サポートポータル内検索」より、以下の ID で検索してください。 R32Ba-E2 : 3170102922
	Starter Pack (Version S8.30-001.02) を使用し、アップデートを行います。 システム構成ガイドにて OS と Starter Pack の対応をご確認いただき、ご使用の OS が Starter Pack (Version S8.30-001.02) に対応していない場合は、アップデート不要です。

2.1.1. ESMPRO/Server Aganet Service

RHEL 系 OS をご使用されている装置における、ESMPRO/Server Agent Service ソフトウェアのバージョン確認方法、及びインストール(アップグレード)方法を記載します。

2.1.1.1. バージョン確認方法 (ESMPRO/Server Agent Service, RHEL 系)

1. root ユーザーでログインします。

2. 下記コマンドを実行します。

```
# rpm -qa | grep Esmpro-Provider
```

"Esmpro-Provider-w.x.y-z.x86_64"と表示されれば、ESMPRO/Server Agent Service はインストールされており、(w.x.y-z)がバージョンです。

2.1.1.2. インストール方法 (ESMPRO/Server Agent Service, RHEL 系)

[step.01] インストール (アップグレード)

1. root ユーザーでログインします。
2. 光ディスクドライブに Starter Pack をセットします。
3. マウントポイントを作成します。

```
# mkdir /media/cdrom
```

(note) 既にマウントポイントを作成済みの場合は、作成不要です。

4. StarterPack をマウントします。

```
# mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom
```

5. StarterPack 内の ESMPRO/Server Agent Service のディレクトリへ移動します。

```
# cd /media/cdrom/software/001/linux/pp/esmpro_sas
```

6. 下記コマンドを実行し、現在インストールされている ESMPRO/Server Agent Service のサービスモードを確認します。

```
# rpm -qa | grep Esmpro-Cmnsvr
```

"Esmpro-Cmnsvr"パッケージが表示されたならば、「サービスモード」です。

"Esmpro-Cmnsvr"パッケージが表示されなかったならば、「非サービスモード」です。

7. 下記コマンドを実行し、ESMPRO/Server Agent Service をインストールします。



サービスモードか否かにより、実行するコマンドが違いますので、十分注意してください。

【サービスモードの場合】

```
# sh ./pp_install
```

【非サービスモードの場合】

```
# sh ./pp_install -p OFF
```

2.1.2. RAID 通報サービス

RHEL 系 OS をご使用されている装置における、RAID 通報サービスソフトウェアのバージョン確認方法、及びインストール(アップグレード)方法を記載します。

2.1.2.1. バージョン確認方法 (RAID 通報サービス, RHEL 系)

1. root ユーザーでログインします。

2. 下記コマンドを実行します。

```
# rpm -qa | grep raidsrv
```

"raidsrv-x.yy-z.x86_64"と表示されれば、RAID 通報サービスはインストールされています。

3. RAID 通報サービスがインストールされている場合は、
下記コマンドを実行して、"/opt/nec/raidsrv/version.txt"ファイルを表示させます。
そして、赤枠箇所にて、バージョンとリビジョンを確認します。

```
# more /opt/nec/raidsrv/version.txt
Name: RAID-Repoer-Service Ver:1.00
Revision: 3682
Date: 2019-04-25 09:20:03 +0900 (Thu, 25 Apr 2019)
```

2.1.2.2. インストール方法 (RAID 通報サービス, RHEL 系)

現在インストールされている RAID 通報サービスソフトウェアを一旦アンインストールしたのち、適合バージョンをインストールします。

[step.01] アンインストール

1. root ユーザーでログインします。
2. 下記コマンドを実行します。

```
# rpm -e raidsrv
```

コマンド実行が完了すると、アンインストールは完了です。

[step.02] インストール

1. root ユーザーでログインします。
2. 光ディスクドライブに Starter Pack をセットします。
3. マウントポイントを作成します。

```
# mkdir /media/cdrom
```

(note) 既にマウントポイントを作成済みの場合は、作成不要です。

4. StarterPack をマウントします。
5. StarterPack 内の RAID 通報サービスのディレクトリへ移動します。

```
# mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom
```

```
# cd /media/cdrom/software/001/linux/raidsrv
```

6. RAID 通報サービスの zip ファイルを、任意の作業ディレクトリにコピーし、展開します。

```
# cp ./EXPRESSBUILDER8_*.zip <任意の作業ディレクトリ>
# cd <任意の作業ディレクトリ>
# unzip ./EXPRESSBUILDER8_*.zip
```

7. raidsrvSetup.sh に実行権限を付与し、実行します。

```
# chmod 755 ./raidsrvSetup.sh
# ./raidsrvSetup.sh
```

2.1.3. Agentless Management Service

RHEL 系 OS をご使用されている装置における、Agentless Management Service ソフトウェアのバージョン確認方法、及びインストール(アップグレード)方法を記載します。

2.1.3.1. バージョン確認方法 (Agentless Management Service, RHEL 系)

1. root ユーザーでログインします。
2. 下記コマンドを実行します。

```
# rpm -qa | grep amsd
```

"amsd-x.y.z-...x86_64"と表示されれば、Agentless Management Service はインストールされており、(x.y.z)がバージョンです。

2.1.3.2. インストール方法 (Agentless Management Service, RHEL 系)

現在インストールされている Agentless Management Service ソフトウェアを一旦アンインストールしたのち、適合バージョンをインストールします。

[step.01] アンインストール

1. root ユーザーでログインします。
2. 下記コマンドを実行し、現在インストールされている Agentless Management Service ソフトウェアのパッケージ名を確認します。

```
# rpm -qa | grep amsd
```

- パッケージ名の一例: amsd-2.1.0-1406.73.rhel7.x86_64

3. 下記コマンドを実行します。

```
# rpm -e <Agentless Management Service ソフトウェアのパッケージ名>
```

コマンド実行が完了すると、アンインストールは完了です。

[step.02] インストール

1. root ユーザーでログインします。
2. 光ディスクドライブに Starter Pack をセットします。

3. マウントポイントを作成します。

```
# mkdir /media/cdrom
```

(note) 既にマウントポイントを作成済みの場合は、作成不要です。

4. StarterPack をマウントします。

```
# mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom
```

5. StarterPack 内のパッケージ収録ディレクトリへ移動します。

```
# cd /media/cdrom/packages
```

6. Agentless Management Service の rpm パッケージを、任意の作業ディレクトリにコピーします。

```
# cp ./ amsd-3.5.0-1803.58.rhel9.x86_64.rpm <任意の作業ディレクトリ>
# cd <任意の作業ディレクトリ>
```

7. 下記コマンドを実行し、Agentless Management Service をインストールします。

```
# rpm -ivh amsd-3.5.0-1803.58.rhel9.x86_64.rpm
```

2.2. Windows Server 2022 OS ご使用装置

Table 2-2 確認ソフトウェア、適合バージョン及び関連情報 (Windows Server 2022)

ソフトウェア	適合バージョン	バージョン確認、及びインストール方法	更新順番
ESMPRO/Server Aganet Service	2.51 以上	< 2.2.1ESMPRO/Server Aganet Service >	1
RAID 通報サービス	Ver 3.00 Rev 4049 以上	< 2.2.2RAID 通報サービス >	2
Agentless Management Service	3.40.0.1 以上	< 2.2.3Agentless Management Service >	3



上表ソフトウェアの更新は、上表「更新順番」欄記載の順番で更新してください。



上表ソフトウェアのインストールは、StarterPack (S8.30-001.02) を使用します。

NEC コーポレートサイト(<https://www.support.nec.co.jp/>)

「NEC サポートポータル内検索」より、以下の ID で検索してください。

R32Ba-E2 : 3170102922



Starter Pack (Version S8.30-001.02) を使用し、アップデートを行います。

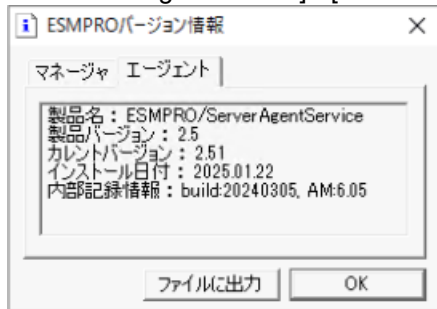
システム構成ガイドにて OS と Starter Pack の対応をご確認いただき、ご使用の OS が Starter Pack (Version S8.30-001.02) に対応していない場合は、アップデート不要です。

2.2.1. ESMPRO/Server Aganet Service

Windows Server 2022 OS をご使用されている装置における、ESMPRO/Server Agent Service ソフトウェアのバージョン確認方法、及びインストール(アップグレード)方法を記載します。

2.2.1.1. バージョン確認方法 (ESMPRO/Server Agent Service, Windows Server 2022)

ESMPRO/ServerAgentService のバージョンは、スタートメニュー(またはスタート画面のすべてのアプリ)より [ESMPRO ServerAgentService] - [ESMPRO ServerAgentService バージョン情報]で確認できます。



2.2.1.2. インストール方法 (ESMPRO/Server Agent Service, Windows Server 2022)

[step.01] インストール (アップグレード)

1. Administrator 権限のあるアカウントでサインインします。
 2. 光ディスクドライブに Starter Pack をセットします。
 3. ルートフォルダー下の start_up.bat をエクスプローラからダブルクリックします。
 4. メニューから[各種アプリケーション]をクリックします。
 5. 表示される[アプリケーション]の一覧から[ESMPRO/ServerAgentService]を選択して、[インストール]をクリックします。
-

2.2.2. RAID 通報サービス

Windows Server 2022 OS をご使用されている装置における、RAID 通報サービスソフトウェアのバージョン確認方法、及びインストール(アップグレード)方法を記載します。


2.2.2.1. バージョン確認方法 (RAID 通報サービス, Windows Server 2022)

1. [コントロールパネル] - [プログラムと機能]において、[RAID Report Service]が存在しており、以下のファイルがあればインストールされています。

※ インストール時のインストールフォルダがデフォルトの場合

C:\Program Files\RAID Report Service\server\version.txt

2. RAID 通報サービスがインストールされている場合は、上記ファイルを開き、バージョンとリビジョンを確認します。



Name: RAID Report Service Ver 3.00
Revision: 4049
Date: 2024-05-22 10:31:43 +0900 (Wed, 22 May 2024)

2.2.2.2. インストール方法 (RAID 通報サービス, Windows Server 2022)

現在インストールされている RAID 通報サービスソフトウェアを一旦アンインストールしたのち、適合バージョンをインストールします。

[step.01] アンインストール

1. Administrator 権限のあるアカウントでログインします。
2. コントロールパネルの「プログラムと機能」で RAID 通報サービスをアンインストールします。

[step.02] インストール

1. Administrator 権限のあるアカウントでログインします。
 2. 光ディスクドライブに Starter Pack をセットします。
 3. ルートフォルダー下の start_up.bat をエクスプローラからダブルクリックします。
 4. メニューから[統合インストール]をクリックします。
 5. 次の画面で[アプリケーション]を選択し、[RAID Report Service]を選択して[インストール]をクリックします。
※ ソフトウェアは以下のディレクトリにインストールされます。
C:\Program Files\RAID Report Service\
-

2.2.3. Agentless Management Service

Windows Server 2022 OS をご使用されている装置における、Agentless Management Service ソフトウェアのバージョン確認方法、及びインストール(アップグレード)方法を記載します。

2.2.3.1. バージョン確認方法 (Agentless Management Service, Windows Server 2022)

1. [コントロールパネル] - [プログラムと機能]において、[Agentless Management Service]からバージョンを確認します。



2.2.3.2. インストール方法 (Agentless Management Service, Windows Server 2022)

[step.01] インストール(アップグレード)

1. Administrator 権限のあるアカウントでログインします。
2. 光ディスクドライブに Starter Pack をセットします。
3. Starter Pack 媒体/ISO イメージ直下の”contents.html”を開き、『Agentless Management Service for Windows X64』を検索し、「Filename」列の実行形式ファイル名(cpXXXXXX.exe)を確認します。
4. Starter Pack 媒体/ISO イメージの packages ディレクトリ配下にある上記の実行形式ファイルを実行してアップデートを行います。
※ アップデートの途中で「SMA (System Management Assistant) Option」のダイアログボックスが表示された場合は、「いいえ」を選択します。

NEC Express5800 シリーズ

Express5800/R32Ba シリーズ
ファームウェア更新事前確認事項
(iLO6: ver 1.64)

2025 年 3 月 第 1 版

日 本 電 気 株 式 会 社

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

落丁、乱丁はお取り替えいたします。

© NEC Corporation 2025

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。